

## 第3回国連防災世界会議パブリックフォーラム「災害マネジメントと企業：課題と展望」を開催しました（2015/3/16）

テーマ：企業、産官学、災害マネジメント

場所：東北大学川内北キャンパスC206

3月16日（月）に、第3回国連防災世界会議のパブリックフォーラムとして、「災害マネジメントと企業：課題と展望」を開催しました。さらに、このセッションは、最近 Springer 社より出版された著書「Disaster Management and Private Sectors: Challenges and Potentials」の出版記念を兼ねたイベントとなりました。このイベントは災害科学国際研究所と京都大学が主催し、当研究所の泉 貴子 特任准教授（情報管理・社会連携部門）が企画しました。

近年、防災の新たな担い手として企業の参加が注目されています。これまで防災は、政府、国際機関、NGOなどが中心となって推進していましたが、今後、さらに防災をあらゆるレベルで強化するには、企業や学術など新たなステークホルダーの参加・貢献が重要となります。セッションでは、異なる地域や国々における企業の防災への貢献についての事例が発表されました。

### セッション1：著書の包括と所見報告

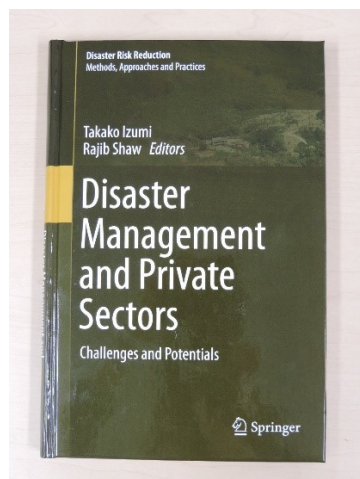
- 「災害マネジメントと企業：課題と展望」からの所見（泉貴子 東北大学災害科学国際研究所）
- 「防災における企業参加を強化するために必要な要素：中央アメリカからの報告」（堀恒樹 米州開発銀行 IDB）
- 「アフリカからの報告：現状と展望」（Dewald van Niekerk 南アフリカノースウエスト大学）
- 「アジアにおける企業の防災への参加」（Ranit Chatterjee 京都大学）
- 「タイ洪水と企業への影響」（Aslam Perwaiz アジア災害準備センター ADPC）
- 「パートナーシップの観点から見た防災への企業参加の展望：インドネシアの事例から」（Victor Rembeth 災害リソースパートナーシップ DRP）

### セッション2：パネルディスカッション ～企業と将来のポテンシャル～

モデレーター：ラジブ・ショウ（京都大学）

パネリスト：上記発表者

このパネルディスカッションでは、企業の防災への参加を促進させるために必要な支援や要素について活発な議論がなされました。企業とのパートナーシップを構築するために、様々なプラットフォームを利用し、情報共有などを行ったり、NGOや政府が企業に対して事業継続計画作成のためのトレーニングを行うなどの支援が必要との意見が多く聞かれました。また、今後も様々な事例を集め、紹介することの重要性も指摘されました。



「災害マネジメントと企業」泉・ショウ共編



パネルディスカッションの様子

（次ページへつづく）



泉貴子特任准教授



堀恒樹



Ranit Chatterjee



Dewald van Niekerk



Aslam Perwaiz



Victor Rembeth

文責：泉貴子（情報管理・社会連携部門）